

# 「地域のつどい」が開催されました

(第18期4回目 白幡地区)

開催日：平成27年11月6日(金)

場 所：白幡地区センター

参加者：33名



第18期神奈川区民協議会第4回目の「地域のつどい」が白幡地区で行われました。

白幡地区は東西を主要道路である綱島街道、横浜上麻生道路に挟まれ、北側に東急東横線が横切っている地域で、8つの自治会町内会で構成されています。1,000世帯を超える町会が3つもあり、全体で約6,500世帯もある大きな連合町内会です。全体に起伏が多い土地に住宅が密集している地域で、いわゆる木密地区として神奈川区の重点対策区域にも指定されており、住民の皆さまは防災・減災に関して、いやが上にも高い意識を持たざるを得ない地区です。

当日出席の皆さまからいただいたご意見の一部をご紹介します。

- ①アパート入居者の町会未加入問題、町会費が集まらない
- ②ごみ問題、ルールが守られていない
- ③町会役員の引き継ぎ問題等
- ④町会役員のなり手がいない、担い手の問題
- ⑤重点対策地区にもかかわらず、認識を持っていない人が多い



- ⑥カラスがうるさい
- ⑦ポール防犯灯、腐蝕しているものがある
- ⑧大規模工事の際、搬入ルートにかかる町会への事前説明がない
- ⑨空き家対策、周辺住民の苦情を行政から所有者に伝えてほしい
- ⑩高齢者、若い要援護者をどのように守るか、助け合える町会運営を
- ⑪犬、猫の糞の始末
- ⑫東京都が発行している防災ブックのようなものを横浜市でも発行してほしい

など、たくさんのご意見をいただきました。

お忙しい週末の夜の開催にもかかわらず、ご参加いただきました白幡地区の皆さま、ありがとうございました。